

主催: 基盤研究(C)学校市民性教育メカニズムに関する実証的研究
—高校生の社会参加の実態に注目して(22K02572)
共催: 大阪大学大学院人間科学研究科 生涯教育学講座、大阪大学大学院
人間科学研究科附属未来共創センター
後援: 広島大学教育ビジョン研究センター、基盤研究(若手)「グローバル化時
代の市民性教育の評価内容とその根拠に関する研究-ICCSに学ぶ-」(24K16678)

オンラインセミナー

何が子どもの社会参加を促進するか？ —高校生の質問紙調査から—

選挙年齢の引き下げや指導要領の改訂等に伴い、高校生の社会参加を進めるための活動が、学校教育で進められ、活発に行われているようになっている。しかし、こうした活動のそれぞれがどのように関連し、子どもの社会参加に繋がっているのかという点については曖昧なままではないだろうか。今回、私たちは、3年間の共同研究を通じて、そもそも社会参加とは何か？から見直しを行い、多様な学校の試みによってどのように社会参加を促しているのか、を検討してきた。その成果の一部を示すことを通して、参加者の皆様と今後の社会参加を促すための教育のあり方について議論したい。

登壇者

川口広美(広島大学) 北山夕華(大阪大学)
古田雄一(筑波大学) 太田昌志(追手門学院大学)
大脇和志(お茶の水女子大学) 小栗優貴(京都教育大学)

コメンテーター

荒牧草平(大阪大学)
井上昌善(愛媛大学)



2/22 (土) 14:00-16:00

←申込用QRコード

お問合せ: hkawaguchi@hiroshima-u.ac.jp